

受験番号	
------	--

平成 31 年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

特別支援学校 自立活動 解答用紙 (2枚のうち1)

4	得点	
---	----	--

--

(1)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳性疾患（脳性まひ、水頭症、頭部外傷の後遺症など）</li> <li>・脊椎・脊髄疾患（二分脊椎症、脊髄損傷、脊椎側彎症など）</li> <li>・筋原性疾患（筋ジストロフィーなど）</li> <li>・骨系統疾患（骨形成不全症など）</li> <li>・骨関節疾患（関節リウマチ、ペルテス病、先天性股関節脱臼など）</li> <li>・代謝性疾患（染色体異常、ムコ多糖症など）</li> <li>・四肢の変形（切断など）</li> </ul>	/
--	---

--

(2)	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員が関わることで、教育活動を中断することなく、授業の継続性が保たれ、学習を計画的に行うことができる。</li> <li>・教員との信頼関係が強まり、学習効果の高まりが期待できる。</li> </ul>	/
	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者から離れた生活を経験し、自立心が養われる。</li> <li>・毎日学校に登校できることにつながり、経験が拡大する。</li> <li>・毎日の生活リズムが確立し、体調が安定する。</li> </ul>	/

--

(3)	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて周囲の人たちの協力を求め、安全な方法で援助する。</li> <li>・車いすをゆっくり押すようにする。また、前方に段差や坂道がないかを確認、急な下り坂では後ろ向きに進むなど、状況に応じた安全な押し方をする。</li> </ul>	/
	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子を使用している生徒と話をするときは、目の高さを合わせるようにする。</li> </ul>	/

--

受験番号	
------	--

平成 31 年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

特別支援学校 自立活動 解答用紙 (2枚のうち2)

4 (続き)

--

(4)	A 全人的な発達	/	B 系統的な指導	/	
-----	----------	---	----------	---	--

--

(5)

<ul style="list-style-type: none"><li>・教育課程上の位置づけを明確にすること。</li><li>・両者の教育目標にどのように合致しているのかを確認しておくこと。</li><li>・両者にどのような教育的効果があるのかを明らかにしておくこと。</li><li>・打合せを年間計画に位置付けるなど、両者が話し合う機会を計画的に確保すること。</li></ul>	
	/

--